



岡山県立岡山東商業高等学校 同窓会会報

第6号 平成31年2月15日発行

発行
岡山県立岡山東商業高等学校同窓会
<http://www.dosokai.ne.jp/higashisho/>
デザイン・印刷 株式会社サラト
題字 東商12期 有瀬加子(芳心)

創立120周年記念式典開催される

本年度学校創立120周年の記念すべき節目の年を迎えました。本校の前身である岡山県商業学校は明治31年9月に岡山市北区磨屋町の「岡山寺」を仮校舎として開校し、10月18日に開校式を行っています。商業学校としては全国で14番目に開校されたと言う古い歴史があり、今日までに約32,000名の卒業生を輩出し地元経済界はもとより、全国各地、また海外を舞台に広く有為な経済人として活躍されております。

(明治)～(大正)～(昭和)～(平成)と4世代に亘って、様々な国内情勢の変遷の中で昭和3年に改称された岡山県第一商業学校から始まり、昭和20年6月29日の岡山空襲では戦災で校舎を焼失してしまいましたがバラック校舎から立ち直り(一商)(二商)(産高)などの統廃合を重ねて、昭和28年(1953)4月1日に現在の岡山県立岡山東商業高等学校となりました。

この様な経緯が示す様に、創立以来幾多の苦難なる変遷を経て新たな歴史を築いて来た訳であり平成30年10月18日にはこれを記念して、教育機関ならびに学校関係・同窓会役員・PTA役員ほか大勢の出席をいただき「岡山シンフォニーホール」に於いて、現役生徒も含め全体では約1,200名での記念式典が盛大に挙行されました。岡田校長より「今日を機に、今我々が果たすべき役割を見直し新しい一步を踏み出して行く」と挨拶があり、石川同窓会長からは「誠実・質素・勤勉」の校訓を忘れず同窓会としても支援を続けて今後50年・100年と「東商の心」を繋いでいきたいと祝辞が述べられました。



ご挨拶

同窓会会長 石川 浩 朗



同窓会会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

この一年間も倉商との定期戦に始まり翠光祭、東商デパートと、生徒の皆さんの生き生きとした活動の多くを見させていただきました。

今年は、明治31年に創立されてより120年になり、周年記念を教職員、在校生、同窓生挙げてお祝いする年となりました。このような周年行事においては、同窓生はもとより教職員の皆さん保護者の皆さん在校生の皆さんのご協力を必要といたします。特に在校生の皆さんには、準備の期間はもとより当日に至るまで、皆さんの高校生らしい姿がなければ成功には至りません。当日の皆さんの態度を見られてさすが120年の歴史を持つ東校とご出席をいただいた皆さんが感心されたとお聞きしております。

当日の式典の中で、特別功労者として、全国大会優勝監督の方々と共に、歴代同窓会長の近常寧（故人）さん、武田聖克さん、そして長年近畿支部長としてご活躍いただいた横田穰治さん、野球殿堂入りをされた平松政次さんに感謝状が贈呈されました。大変うれしいことでした。今後10年間では、どのような喜ばしいことがあるのだろうかとお楽しみにになりました。

また、記念事業としましては、全国大会優勝顕彰碑ならびに、秋山登さん平松政次さんの野球殿堂入り顕彰碑の設置、同窓会館3階研修室の空調設備整備、体育館出入口の環境整備、また、教育活動がより効果的にそして成果を挙げてほしいと願いを込めて、なかなか高価であり購入の難しい楽器類、タブレットパソコンなど購入させていただきました。同窓会館3階研修室におきましては空調設備が新しくなりましたので、快適に会議ができるよ

うになりました。大いに活用していただければと思っています。

このような行事を行う度に同窓生の皆さんの力強いご支援、母校に対する強い思いを感じます。

今年度は、会報ならびに名簿と発行が重なり、その上、創立120周年記念式典当日の新聞掲載につきまして同窓生の皆さんの力強いご支援により実施することができました。改めましてお礼申し上げます。

皆さんもご存じのことと思いますが、悪役商会の八名信夫（東5期）さんが、「おやじの釜めしと編みかけのセーター」に続き、監督・脚本二作目の映画、「駄菓子屋小春」を作成し各地の災害復興を願い上映会を各地で開いておられます。今一つは、野球殿堂入りされた平松政次（東17期）さんの名前の付いた野球場が誕生したことです。高梁市神原スポーツ公園野球場の名称が「平松政次球場」の愛称に改称されたとのことをお知らせいたします。

同窓会会報第6号発刊にあたりましては、お忙しい中、在校生新聞部の皆様、同窓生の皆様にご寄稿いただく等、ご協力いただき大変ありがとうございました。また会報は毎年続けて発刊してまいります。限られた紙面ではございますが母校の現状ならびに生徒の皆様の活躍の様子、そして会員皆様の活躍の様子等をお知らせすることができればと考えておりますのでご協力方よろしくお願いいたします。

おわりになりましたが、長年事務局長としてご苦勞いただきました南石眞作さんが5月に、そして、会長として同窓会の運営を牽引していただきました赤木實男さんが10月にお亡くなりになりました。お知らせいたします。と同時に心よりご冥福をお祈りします。

学 校 長 岡 田 哲 朗



同窓会の皆様方には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素から本校教育の充実発展のために、物心両面にわたり温かい御支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。とりわけ、今年度は創立120周年の記念すべき節目の年ということで、同窓会より多くの備品の御寄贈をいただき、重ねて感謝申し上げます。

さて、本年度は本校の記念すべき創立120周年を迎え、年度当初以来多くの周年記念行事を行ってまいりました。「東魂！伝説の120周年に向けて」というスローガンのもと、「後世に語り継がれる年にしよう」と生徒・教職員が言葉どおり一丸となって様々な内容に取り組んでまいりました。5月の倉商との定期戦に始まり、岡山県高等学校商業実務競技大会、9月の翠光祭、そして10月の創立120周年記念式典、野球部、バレーボール部記念交流試合、芸術鑑賞など、一つひとつの行事を入念に準備し成功を目指してきました。特に10月18日の創立記念式典には多くの

同窓会の方々にもおいでいただき、素晴らしい式典を挙行できたこと、皆様に衷心より感謝申し上げます。

歴史や伝統、学校規模からも、本校は全国トップレベルの商業高校になるべきミッションがあり、全国へ誇れる取り組みの一つ、25回の節目を迎える「東商デパート」にも学校一丸となり熱い情熱を注ぎこんできました。また、地元企業と共同開発した商品などの地元商店街やイベント等での販売や地域貢献活動など、地域連携にも積極的に取り組んできました。部活動では、男子バレーボール部をはじめボート部や珠算部、コンピュータ部などが全国大会に出場しています。このように、今年度も、多くの生徒の活躍があります。しかしながら、本校はかつての「県商」として、本県の商業教育の本部校として「東商新時代」をめざし、さらなる前進が必要であると考えています。

どうか今後とも同窓会の皆様には深い御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに本校同窓会のますますの御発展と会員の皆様方の御健勝を心よりお祈り申し上げ御挨拶とさせていただきます。

本校の学科とコースについて

(1) 商業科 1年 8クラス (定員 320名)

平成11年度入学生より、くくり募集制度を導入しており、1年次は全員基礎的な商業科目を共通に履修します。したがって、1年次は全員商業科となります。2年次から、一般入学者選抜の合格者は、本人の能力・適性・興味・進路等により、下記の学科・コース(類型)を選択して学習します。(特別入学者選抜の合格者は、原則として2年次より当該学科に進級します。ただし、ビジネス創造科は、コースを自由に選択することができます。)

(2) ビジネス創造科 2・3年 6クラス (定員 各240名)

地域経済の発展に貢献するビジネスリーダーとして必要となる基本的な能力を育成します。また、スペシャリストを目指して、主体的、継続的に学ぶことのできる能力を育成する学科です。

① アドバンスコース

2・3年 1クラス(定員 各40名)
大学等への進学を目指します。

② 会計ビジネスコース

2・3年 1クラス(定員 各40名)
簿記会計の基礎を学び、企業の経営分析など会計に関わる発展的な内容を学習します。

③ 総合ビジネスコース

2・3年 4クラス(定員 各160名)
商品や流通などに関わる幅広いビジネスを学習します。

(3) 情報ビジネス科 2・3年 2クラス (定員 各80名)

ビジネスにおける情報活用に関する基本的な知識・技術を習得します。また、情報通信ネットワーク分野におけるスペシャリストを目指し、主体的、継続的に学ぶことのできる能力を育成する学科です。

倉商定期戦 今年の東商は一味違う

5月9日、岡山総合グラウンドにて、第65回岡山東商業高校対倉敷商業高校の定期戦が行われました。

東商業は120周年の記念の年ということもあり、応援合戦から力強い団結力を感じました。天候が心配されていましたが、当日は快晴ですべての競技を予定通り行うことができました。

バレーボール部は、男女とも前半から攻めのプレーでストレート勝ちでした。卓球部男子は、第2シングルス以外、順調に3セッ

トを先制し快勝しました。卓球部女子は、5試合とも3対0のストレート勝ちで完勝しました。どの部も日ごろの練習の成果を発揮するため一生懸命頑張っていました。そんな選手たちの姿に、声援も自然と大きくなりました。

結果は、東商業23対倉敷商業22で東商業の優勝でした。この勝利が東商業の新たな歴史の1ページとなり、今後もこの伝統を守り続けてほしいと思います。



翠光祭 ～一致団結 想いはひとつ～

各チームの想いが火花を散らす120周年という節目の翠光祭が、9月26日から28日の3日間にわたって行われました。別々に行われていた文化祭と体育祭が統一され、翠光祭と呼ばれるようになったのは平成2年、現在は4チームの縦割りブロックになっています。

今年は例年に比べて準備期間が短かったにも関わらず、模擬店・装飾・ステージ・応援・パネル・競技の全てにおいて120%の力を発揮できた素晴らしい発表になりました。

文化の部は、吹奏楽部による美しい演奏で幕を開けました。ステージでは、各チームの一番伝えたいメッセージが心に染みる、笑いあり感動ありの魂がこもった発表になったと思います。その他にも、書道部・ダンス部のパフォーマンスや文化部

の展示など、お互いに協力しあって発表している姿を目の当たりにして、視線が釘付けになりました。

模擬店では、それぞれのチームカラーを使ったメニューを考え、先生方が審査しました。「紫いもコロケ」はあまりにも美味すぎて、爪楊枝まで噛み砕きそうになったほどでした。

体育の部では天候にも恵まれ、一人ひとりの一生懸命頑張っている姿と汗が光って見えました。特に心に残ったのは、やはり「応援」です。突然のハプニングが起こっても、最後まで諦めずに完全燃焼し続けた彼らの姿を見て、涙が出そうになりました。三年生にとっては、最後にふさわしい記憶に残る翠光祭になりました。終わった頃には、私の鼻も真紅に染まっています。



第25回東商デパート

11月17日土曜日、岡山ドームで第25回東商デパートが開催されました。今年のテーマは「商業無常～過去を重んじ刻む東商伝説～」でした。創立120周年を迎えた今年は、新しく協力していただいた企業も多く、たくさんの方のご厚意に応えられるよう全校生徒が頑張っていました。

当日は、ドームの工事や駐車場削減により客足が遠のいて売上が伸びないのではないかと不安でしたが、さわやかな秋晴れの中、来場者数約6,000人と活気のあるデパートになりました。また卒業生の八名信夫さんや坂東圭一郎さんがお越しくださり、被災地支援のDVD販売や歌と演奏でデパートに花を添えてくださいました。



毎年人気のハローキティとのコラボ商品は「チョコレートマシュマロ」で1袋6個入りです。表面には東商の新制服や120周年記念、部活動など12種類のイラストが描かれています。また、120周年記念商品として、岡山県産の黄ニラを使った「黄ニラ入りピリ辛ソース」(300ミリリットル、500円)が200本限定で販売されました。これは生徒有志がソースメーカーの大黒屋(大阪)と共同開発したものです。

東商デパートは普段できない多くのことが経験でき、たくさんのお話を学べるとても大切な時間です。毎年行われていることを当たり前と思うのではなく、感謝の気持ちを忘れず、来年は今年以上にお客様にご満足いただけるよう取り組んでいきます。

書道パフォーマンスを終えて

書道部部长 3年 山本 有希乃

期日 平成30年6月17日(日)
会場 岡山プラザホテル

私たちが通う岡山東商業高校は、今年創立120周年を迎える伝統校です。卒業生の数は約32千人。同窓会総会には毎年多くの卒業生が参加され、旧交を温められているとお聞きしています。



今回のお話を顧問の先生から伺い、嬉しさと同時にとても貴重な経験ができると感じた瞬間、心臓がドクドクと音をたてるのがわかるほど緊張してしまいました。

出演が決まってからあまり時間はありません。早速、次の日から、先輩方の前で「どのようなパフォーマンスを披露したらよいか?」「私たちのどのような思いを書道パフォーマンスをとおして伝えるのか」などみんなで考えました。紆余曲折がありましたが、結局辿り着いたところは「東商書道部だからできるものになろう」ということでした。

当日の会場は本当に多くの先輩方で埋め尽くされており、その

雰囲気飲み込まれそうになりました。しかし、信じる仲間の笑顔と先輩方からの温かい拍手と微笑みに助けられ、力を出し切ってパフォーマンスすることができたと思っています。また今回は、1年生が初めての舞台であったということもあり、私たちにとって大切な思い出になりました。

このような素敵な場所で、書道パフォーマンスを披露するという貴重な経験をさせていただいたことに感謝しています。私たちが通う東商は、多くの先輩方に支えられ愛されている学校であることを今回の経験をとおして改めて感じることができました。ありがとうございました。

今後も「夢は逃げない」をモットーに、「愛される書道部」を目指して頑張っていきたいです。



～応援の舞台裏～第54回定期演奏会

東商39期(吹奏楽部OB) 野口 慎一郎

平成30年12月24日Xmasイブの賑わいの中、岡山シンフォニーホールにおいて吹奏楽部の第54回定期演奏会が開催されました。創立120周年の冠がついた記念演奏会は顧問の森口先生が「OB合同演奏」を企画され、約25名のOBが演奏に参加。19期芦田修



次先輩指揮の下「歌劇アイダ」より凱行進行曲を演奏し、聴衆の皆さんに長い歴史が培ってきた東商サウンドをお届けしました。演奏会全体も例年に増して「一体感」の感じる素晴らしい出来栄で現役部員、先生、保護者の皆さんの努力が結実した最高の演奏会でした。スクールバンドの演奏会として全国有数の歴史を誇るこの演奏会がその時々の先生、部員の努力で50年以上も続いている「理由」が今回、リハから通して拝見し、よく分かった気がします。部員たちの努力に加えて準備などに奔走するOB、先生方、保護者の皆さんを見て、この方々の応援で「この長い歴史が成り立っているのだな」と。

リハの最中に飛ぶ森口先生やOBの皆さんの最後の仕上げに対する妥協のない指導の声、サポートする舞台進行係のOBの皆さんの気遣い、これすべて聴きにきて下さったお客様に喜んで頂き、現役部員にその達成感を感じてもらい、卒業してもこの経験が生きる様に配慮された「応援」なんだと。そして卒業した生徒がまた応援の側に回る。東商120年の歴史、それが成せる業だと身に染みて、特に最後の校歌～パラ銀の演奏は野球部の生徒たちの声と共にOBとしても感謝と感動を覚え

ました。この素晴らしい演奏会が今後も歴史を重ねていけるようOBの皆さんのさらなる応援をお願いしたいと思います。次回第55回定期演奏会は2019年12月23日です。是非、応援よろしくお願い致します。



被災写真洗浄ボランティア

写真部部长 水川 栞里

私たち写真部は、夏休みに西日本豪雨で土砂にまみれた写真の洗浄作業をおこないました。倉敷市真備町地区から寄せられた写真をきれいにして持ち主に返したいという元PTA会長の野口さんの思いに共感したからです。

写真はPTAの野口さんが所属する岡山写真材料商組合の方がフェイスブックで希望を募り、同地区の三世帯から約一万枚が集まりました。持ち主の方の中には、結婚を控えた娘さんにこれらの写真を持たせたいということで洗浄依頼をされた方もいます。写真は汚れて時間がたつとカビなどで状態が悪くなり、画像が消えてしまいます。そのため汚れを取り除く作業が遅れると傷みが進んでしまうので、早く作業を終えてきれいな状態で返せるよう一生懸命取り組みました。

私たちは、野口さんから「顔が写っている部分は特に慎重に」と助言をうけながらアルバムから写真を取り出した後、一定の温度で水を張った容器につけて泥を落とし、保存性を高める薬剤を入れた溶液につけてコーティングしました。その後、教室に張ったロープに洗濯はさみでつるしたり、床に並べたりして乾燥させました。

写真の洗浄作業そのものはそれほど特別なことではありません。普通の水を使い、自分たちの手で写真を優しく洗うことで写真を復元することができます。で

も写真を洗うことでお会いしたことのない方々の歴史や喜びに次々に出会うことができました。一枚一枚の写真にこめられた家族の思い、ひとりひとりの人生を思うと胸がジーンとなり、私にとって特別な時間となりました。

被災写真に触れたことで普段の活動の中で顧問が言われる「写真をとることは思い出を切り取ること、私たちのなにげない一枚が大切な思い出につながるのだよ」という言葉の本当の意味がわかったような気がします。私たち写真部にとって「写真を洗う」という作業を経験することは「写真を撮る」ということの本質につながるとても貴重な経験となりました。このボランティアに参加できてよかったです。また私たちが洗浄した写真を見て、被災された方々に少しでも元気になって欲しいと思いました。



平成30年度 近畿支部同窓会開催

近畿支部長 工藤 隆

今年度は、平成30年3月17日（土）に大阪駅前第一ビルにあります『神仙閣 大阪店』にて一商45期から東商28期までの22名の参加で近畿支部同窓会を開催しました。



本部より石川浩朗会長のご出席をいただき、母校の近況、120周年記念式典の概要等をお聞きました。短い時間でしたが近況報告など年代を超えて楽しいひと時を過ごしました。会員の高齢化、若い世代の勧誘など今後の支部運営には課題も多くありますが、知恵を出し合い支部継続に努力して参りますのでご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。近畿在住の同窓生の皆さん遠慮なさらず下記宛てご連絡ください。

尚本年度も、平成31年3月16日（土）に昨年同様『神仙閣 大阪店』にて開催予定です。多数の皆さんの参加をお待ちしております。

【連絡先】東商15期 工藤 隆
(携帯) 090-1715-5492

平成30年「春の叙勲受章」を受けて

昭和42年卒 東商18期 田中 強



私が、岡山東商業を卒業したのは昭和42年であります。当時の就職活動は景気も良かったのか学校の斡旋によって100%就職でき、大企業から中小企業までまちまちでしたが就職された方は希望に満ちた出発だったと思います。

私自身は、岡山市内の希望した会社に内定済みが落とされ、次に担任の先生から勧められた岡山市内の会社に就職しました。

仕事そのものは2年目から営業に回り面白かったのですが、将来の事を考えたときふとこの会社大丈夫かと考え公務員の道を考えました。

小学校のころ岡山中央郵便局の窓口によく遊びに行った記憶があり郵便局の仕事を希望し、郵政の初級試験を受け国家公務員に採用されました。年齢も20歳の時でした。

最初の配属は岡山地方貯金局という郵便貯金の管理をする機関でしたが、官庁であり土曜日が半ドンでテニスコートがあり、東商テニス部の3年間のお陰で大いに役立ちました。

その後、転勤で岡山中央郵便局に配属になり18年間お世話になり、その間小包課・会計課・庶務課そして窓口小包課の課長代理をした後、縁あって私が建てた家が岡山市四御神という地域でしたが、その地域に郵便局がないため地域の有力者からこの地に郵便局の設置を頼まれ、平成3年に岡山四御神郵便局を開局しました。

郵便局は岡山県内に大きく分けて、普通郵便局・特定郵便局の2種類ありその他に委託を受けてする簡易郵便局があります。

私が開局した郵便局は特定郵便局ですが、地域の中で生活に必要なインフラとしての事業であり、あまねく公平なサービスを提供する事業として活動をしました。

岡山四御神郵便局長として20年間勤務し、平成17年から備前東地区の会長として岡山市の旭川東側から三石まで、北は赤磐市周匝までの70局のトップとして、70局の業務・営業・人事等について管轄するとともに地域のお客様のサービスについて責任を持ちました。

平成23年3月に退職し、その間42年間郵便局にお世話になり、この度は国家公務員のご褒美と言える「瑞宝双光章」という勲章を70歳で授かり、天皇陛下に拝謁もできました。

これもひとえに岡山東商業高校という母校を卒業した縁あってのものであり、先輩・同級生・後輩の皆様に感謝申し上げますとともに母校の益々のご発展を祈念し、お礼の言葉とします。



第43回 岡山東商業同窓ゴルフ大会

幹事代表 木谷 俊和(東商12期)

岡山東商同窓ゴルフ大会が、平成30年10月3日(水曜日)に鬼ノ城ゴルフ倶楽部にて快晴の秋空のもと、参加者134名にて開催されました。

今回はパーティ開始迄の待ち時間を短縮する目的で、鬼ノ城ゴルフ倶楽部さんのご協力を得て、ショットガン方式にて挙行致しました。戸惑った方もいらっしやったと思いますが、無事大会を終えることが出来、ご協力頂いた参加者の皆様に厚く御礼申し上げます。今後の会の運営について広くご意見を承りたく、各期の幹事さんを通じ申し出て頂ければと思っております。成績は次の通りです。

団体戦 優勝 18期、2位 12期、3位 22期、4位 20期、5位 19期 以下、17期、14期、6期、13期、42期、16期、7期
個人戦(敬称略) 優勝 43期 早瀬 哲也 2位 18期 安田 猛男 3位 19期 河原 茂
レディス賞 優勝 30期 高瀬裕貴子 2位 16期 谷 澄枝 3位 13期 茶谷 広美 以上の方々でした。

今回の最年長は6期卒、最年少は66期卒、その差60年、実に感慨深いものがあります。

昨年は創立120周年の記念行事が開催された由、歴史ある伝統校の卒業生が年に1度集うこの大会を、益々盛り上げて行きたいと考えておりますので、1人でも多くのご参加をお待ちしております。

尚、今年の幹事は18期の皆さんにお願いする事になりました。開催日は10月の第一水曜日の予定です。



同期会だより



第12回 岡山東商(6期)同期会

3年振りに恩師：森 彰先生、同期生：男子23名、女子14名の36名が参加して第12回目の「同期会」を去る平成30年4月26日、ホテルグランヴィア岡山において開催した。まず記念写真の撮影後、前回の同期会以降10名の物故者のご冥福を祈り黙祷を捧げ、同期会会計報告、世話人代表のあいさつ、恩師紹介並びにあいさつ、記念品贈呈等セレモニーを経て懇親会に移り、今回は全員からスピーチを伺い、想い出話や家族構成、健康状態等に花が咲き、和やかな一時を過ごすことができた。そして、最後に懐かしい「校歌」を斉唱し、2年半後の再会を約束して散会した。(桑田徹也)



(19期)卒業50周年併古希記念同期会

「あんた、誰?何歳になったんでえ?」「忘れた。」こんな会話も聞かれた往年の紅顔の美少年と美少女たちは変貌を遂げ、今や見る影もなくなりましたが互いに卒業50周年と古希を祝おうと、11月3日ピュアリティまきびに集いました。

物故者への黙祷、校歌斉唱、中田真理子実行委員長の挨拶、薮



賢治委員発声の乾杯から始まり120年の歴史や現在の様子、倉商との定期戦、各部の活動や、吹奏楽部と書道部の演技などの映像を鑑賞しながら、旧友たちとの談笑で、笑い転げたあれこれの記憶が鮮やかに蘇りました。

中締めでは、大森和博副委員長の挨拶に続き第一応援歌を。有瀬ます子、万波信子両委員の司会による二次会カラオケの閉会には第二応援歌を斉唱しエネルギーを充電して散会。

約10年前、437名の同期生のうち当初124名の住所不明者の住所探しから始めて、この日に至るまでの準備や出席の勧誘を推進してくれた現、旧委員の皆さん本当にお疲れ様でした。

残念ながら今回は出席できなかった友よ、いつか、どこかで。

すべての19期生の皆さん、今後減退する羞恥心と記憶力のことは気にしないで、皇寿同期会で再会できるよう頑張りましょう。

最後に、ピュアリティまきびの谷山智子さん(30期)をはじめ、職員の皆様の応対や各種のサービスは心に沁みました。ありがとうございました。(東商19期 三垣正博)

東商(25期)同窓会開催

120周年記念のDVDを皆でみて感動!

今までは不定期か5年に1回の開催でしたが、還暦同窓会以来これからは早いうちに会っておこう(?)ということで3年毎になってそれが実現しました。我々の世代は「甲子園」春・夏の連続出場、バレー部はインターハイ・国体選抜で計:6回出場という輝かしい時代のメンバーであり、思い出深い話が沢山あってどの時期とっても昔話の共通点には華が咲くことばかりです。高校卒業してから夫々の人生を歩んで来ましたが、45年経った今もこうして皆で集い、これからもまだまだ!という健康第一を改めて痛感。次回開催まで元気で!を合言葉に名残惜しくも散会となりました。



120周年記念式典を終えて

生徒会長 平田 夏一

先日、本校が創立して120周年を迎え、それを記念する催しである「120周年記念式典」が盛大に挙行されました。その式典では、記念すべき年の生徒会長として、全校生徒を代表し、挨拶を申し上げさせていただきました。式典には、大学長や歴代の教員の方々が目の前に座り、自分の話に耳を傾けていただいていたことに対して恐縮したのをよく覚えています。普段から全校生徒の前でスピーチをしている私も、差し出されたお茶も喉を通らないほど、いたく緊張していました。式典を終えた

私は、東商という存在がいかに大きく、つながりの広いものだとということに気づかされました。私の自宅の近辺に住む人々が、式典があることを知っていたことに驚きを隠せませんでした。また、式場で配布された当日の新聞には、二面に渡り記念式典に関する記事が掲載されており、数多のスポンサーの方々が応援してくれていることを知りました。東商は、たくさんの人に期待されているからこそ、その期待を裏切ることのないよう、「誠実・質素・勤勉」の校訓のもと何事にも一生懸命に励み続けたい。

編集後記

昨年は母校創立120周年を迎え、記念式典や様々な行事が行われました。生徒達も改めて、歴史ある学校であることに色々な感動を持った事だと思います。また、全国におられる同窓生の皆様も今回の会報をご覧いただいてどの様な感想をお持ちになったのでしょうか?本校は学業・部活動などに日々全力で積極的に取り組んで前進していますが、勿論のこと同窓会事務局としても歴史を地道に積み上げて行くことの大切さと大変さを痛感しております。どうか皆様も陰に日向に母校の活躍ぶりを目にしたり、聞いたりされた時にはエールを送ってあげてください。そして、我々同窓生も母校の活躍を心の励みに応援しながら日々過ごして行きたいと思っております。



タブレット



レクチャーテーブル



サクソフォーン



トロンボーン



スーザフォン



空調設備



展示ショーケース



殿堂入りプレート



顕彰碑



記念定期戦始球式



(石川) 同窓会会長



当日の山陽新聞広告

